学校番号	307

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	書Ⅲ（光村図書）						
副教材	自主教材プリント						

1　担当者からのメッセージ

・作品制作など創作活動を中心に授業を行います。自分で書く内容を吟味し、その内容に沿った表現方法を考えて作品制作をしましょう。
・「生活の中で使われる書」として、社会に出てから常識とされる書き方（はがき、手紙、芳名録、表書きなど）を身に付けましょう。
・芸術に対して幅広く興味を持ち・関心を持ち、感性を高め、豊かな人生が送れる下地を作りましょう。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情と書の伝統と文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな書の能力を高める。

3　学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a：書への関心・意欲・態度	b：書表現の構想と工夫	c：創造的な書表現の技能	d：鑑賞の能力
観点の趣旨	書を構成する要素や書独自の表現方法などを理解しながら、創作活動に取り組もうとする。書の伝統と文化に関心を持ち、生活や社会の中でどう生かされるかを理解している。	書の表現方法、形式の多様性を知り、構成する要素とその関連から生み出される働きを捉えながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	感性を働かせて、意図に基づいた創造的な表現をするために、用具・用材の特徴を理解し、書の伝統に基ずく効果的な書表現の技能を身に付け表している。	自らの創作活動を通して得た経験による視点から、文字や書の伝統文化を理解し、豊かに深く関わり、積極的に美しいものや優れたものに接し、鑑賞の活動に取り組もうとする。
評価方法	・観察 ・レポート ・ワークシート	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。				

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価基準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	日本の書の臨書	・日本の書の臨書（三筆から） ・伊都内親王願文の臨書 半紙に練習 半切に作品制作 押印 ・升色紙、一条摂政集臨書 ・形式、変体仮名、和歌の意味を学習する。 ・仮名半紙に練習する ・料紙に書く	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a,日本の書（三筆・三跡・仮名）について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 ｂ空海や橘逸勢、仮名の結構の取り方や線質、線の太細の変化の付け方などの表現方法を理解し、表現を工夫している。 c, 空海や橘逸勢、仮名の用筆法や結構の取り方などを理解し、その技術の習得に努めている。 ｄ、三筆、三跡の書を鑑賞し、中国の書との関連性を理解し、そのよさや美しさを味わっている。仮名の美しさや料紙の美しさを味わっている。	・観察 ・ワークシート ・レポート ・提出作品
	作品製作	･染色した紙を作成し、その紙にあった作品を制作する。 ･紙の染色 マーブリング スプレー ･語句の選択 ･草稿 ･作品制作 ･押印 ･相互批評会	○	○	○	○	a、紙の色と語句の関連性を考え、主体的に表現や鑑賞の創作活動に意欲的に取り組もうとしている。 ｂ，漢字仮名交じりの書の良さや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 ｃ，紙の色と文字や文字群との関係を理解し、墨色や全体構成を考えた表現技能を身につけ、表現している。 ｄ,互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっている。	・観察 ・ワークシート ・レポート ・提出作品
		・夏の風物のうちわを作る ・草稿	○	○	○	○	a ,日本の伝統的なうちわと切り紙の文様などに関心を持ち、創作活動に	・観察 ・ワーク

		・切り紙作成 ・うちわにはる ・鑑賞会					意欲的に取り組もうとする。 ｂ,うちわ、切り紙の表現方法を理解し自らの意図に基づいて工夫している。 c,切り紙の技法、カッターの使い方など基本的な技能を身につけ、表している。 ｄ,互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	シート ・レポート ・提出作品
２学期	作品制作	・創作活動 ・漢字作品 ・漢字と外国語のコラボレーション ・漢字仮名交じりの書の作品 ・相互批評 ・鑑賞会	○	○	○	○	a ,書の創作活動の喜びを味わい、表現方法、形式、書表現の多様性を理解し、積極的に取り組もうとしている。 ｂ,感性を働かせながら、自己表現の狙いを達成するために構想し、表現を工夫している。 c,創造的な書表現をするために、用具・用材、線質、字形、全体構成などの表現技能を身につけ、表している。 ｄ,互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	・観察 ・ワークシート ・レポート ・提出作品
	明から清時代の書の臨書	・倪元璐の長条幅を臨書 ・張瑞図、黄道周、王鐸、傅山の鑑賞	○	○	○	○	a ,明清時代の書について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 ｂ, 倪元璐の長条幅の美しさや自由自在な筆法を感じ取り、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 c,倪元璐の用筆法や長条幅への書き方を理解し、その技術の習得につとめている。 ｄ,明清時代の他の書と王鐸の書との関連性を理解し、その良さや美しさを味わっている。	・観察 ・ワークシート ・レポート ・提出作品

	生活の中の書	・実用書 ・はがき ・手紙 ・熨斗紙 ・芳名録 ・表書き	○	○	○		a ,実用的な書の書き方、形式、決まり事などに関心を持ち、表現や鑑賞活動に意欲的に取り組もうとしている。 ｂ,基本的な表現方法を理解し、自らの意図に基づいて工夫している。 c,基礎的、基本的な筆使いや形式を身につけ表している。 ｄ,暮らしの中に書を生かすことを理解し、その良さや美しさを味わっている。	・観察 ・ワークシート ・レポート ・提出作品
３学期	卒業制作	・卒業後の抱負を作品に仕上げる（額装） ・語句の選定 ・草稿作成 ・作品制作 ・押印 ・制作意図発表 ・鑑賞会	○	○	○	○	a ,書の創作活動の喜びを味わい、表現の構想から完成に至るまで、主体的に取り組もうとしている。 ｂ,自己表現の狙いを達成するために自らの表現意欲を高め、用具・用材、線質、字形、全体構想などについて工夫している。 c,創造的な書表現をするために、用具・用材、線質、字形、全体構成などの表現技能を身につけ、表している。 ｄ,互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	・観察 ・ワークシート ・レポート ・提出作品

※　表中の観点について　ａ：書への関心･意欲･態度　　ｂ：書表現の構想と工夫
　　ｃ：創造的な書表現の技能　　ｄ：鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
･原則として一つの単元（題材）ですべての観点について評価することになるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○をつけている。